

2010 年度活動報告

2010 年度の東京災害ボランティアネットワークは、ネットワーク設立の趣旨である「顔の見える」連携と協働を強く意識しながら、様々な取り組みを進めてきました。特に、2010 年 9 月に取り組んだ首都圏統一帰宅困難者対応訓練、2011 年 1 月に取り組んだ内閣府主催の災害図上訓練では、これまで以上に様々な方々との連携をはかることができました。

また、年度末の 2011 年 3 月 11 日に発災した東日本大震災では、東災ボ参加団体以外の方々とともに連携・協働して被災者支援活動にあたっております。

東京災害ボランティアネットワークは、東日本大震災被災者支援活動を全力で進めていくとともに、来たるべき東京での災害に備えるため、参加団体のみならず、数多くの団体・組織・市民と「顔の見える」関係を築いていきます。



写真上 : 2011 年 1 月に有明の丘の防災拠点で実施された政府の災害図上訓練の様子

写真右上 : 2010 年 8 月に実施された東京都・文京区合同総合防災訓練での防災まち歩き

写真右下 : 2010 年 9 月に実施された 2010 年首都圏統一帰宅困難者対応訓練での昼食 AS



■首都圏大災害に向けた具体的な対応策の検討

- ・東京で大災害が発生することが避けられないことを踏まえ、東災ボ内団体の社会的資源の確認と具体的な対応策を検討しました。
- ・災害時に想定される具体的な課題に対し、市民と関係機関、民間組織・団体の協働の訓練を実施しました。

【2010 年首都圏統一帰宅困難者対応訓練実施報告】

日時：2010 年 09 月 25 日(土) 10 時 00 分～17 時 00 分

2010 年 10 月 02 日(土) 10 時 00 分～17 時 00 分(神奈川県内コース)

場所：東 京コース：日比谷公園～武蔵野市 武蔵野中央公園 20.0km

千 葉コース：日比谷公園～市川市 広尾防災公園 16.5km

埼 玉コース：日比谷公園～草加市 綾瀬川左岸広場 20.5km

神奈川コース：日比谷公園～川崎市 稲毛公園 17.2km

埼玉県内コース：埼玉県庁～草加市 綾瀬川左岸広場

神奈川県内コース①：川崎市中原平和公園～横浜市神奈川公園

神奈川県内コース②：藤沢市役所～平塚市湘南海岸公園

内容：徒歩帰宅訓練 参加者数： 2,951 名

エイドステーション設置訓練 参加者数： 1,123 名

情報伝達訓練他 参加者数： 221 名

計 4,295 名

主催：2010 年首都圏統一帰宅困難者対応訓練実行委員会

主管：東京災害ボランティアネットワーク

共催：東京都石油業協同組合、JB 日本接骨師会、東京労働者福祉協議会、東京ボランティア・市民活動センター、連合東京、連合千葉、連合埼玉、連合神奈川、東京都生活協同組合連合会、東京 YMCA、シャンティ国際ボランティア会、自立支援センターふるさとの会、日本防災士会、真如苑 SeRV、中央労働金庫、埼玉県、全労済東京都本部、(株)レスキューナウ、日本防災士会、ナルク市川、ナルク東京本部、新宿区社会福祉協議会、みなとボランティアセンター、ちよだボランティアセンター、東京高齢・退職者団体連合、杉並区社会福祉協議会、練馬ボランティア・市民活動センター

後援：東京経営者協会、東京商工会議所、東京都中小企業団体中央会、東京工業団体連合会、東京商工会連合会、内閣府、東京都、千葉県、神奈川県、千代田区、中央区、港区、江

東区、江戸川区、台東区、荒川区、足立区、新宿区、中野区、杉並区、練馬区、西東京市、武蔵野市、品川区、大田区、浦安市、市川市、川崎市、横浜市、藤沢市、平塚市、草加市、さいたま市

協力：エイドステーション設置協力：東京電機大、東京メトロ㈱、すさのお神社、草加浅間神社、築地本願寺、東京都水道局江東給水所、弘済会館、東京電力㈱新宿支店、コープとうきょう、日本 HP㈱、竹下稲荷神社、日本コムシス㈱、東京計器㈱、川口市立芝東小学校、埼玉県立川口青陵高校、道の駅「川口・あんぎょう」

物品提供協力：セカンドハーベスト、フード連合、明治製菓㈱、全森永労働組合、㈱マルハニチロ食品、マルハニチロユニオン、サッポロ飲料㈱、サッポロビール労働組合、味の素㈱、味の素労働組合、明治乳業労働組合、東都生協、パルシステム連合会

運営協力：中野ボランティアセンター、ボランティアセンター武蔵野、大田区ボランティア・区民活動センター、川崎災害ボランティアネットワーク、浦安市社会福祉協議会、市川災害ボランティアネットワーク、台東ボランティアセンター、足立区社会福祉協議会、足立区ボランティア連合会、草加市社会福祉協議会、連合東京西北地協、連合東京東地協、連合東京中南地協、埼玉県社会福祉協議会、さいたま市社会福祉協議会、NPO 法人キャンパー

資機材・運搬協力：太陽工業㈱、ヤマト運輸労働組合北東京支部、全日通労働組合東京支部中部地域協議会、ジェイアール東日本物流労働組合



恒例の訓練となりつつある首都圏統一帰宅困難者対応訓練。2010年の訓練は台風の接近で開催が危ぶまれたが、午前10時過ぎには雨が上がり、無事に開催することができました。

首都圏災害に備える東京都との定期協議に向けた取り組み

(1)実施期日：2010年4～8月

(2)実施内容：首都圏災害に備えるため、災害時、東京都に設置される災害ボランティア部所管の東京都生活文化スポーツ局との定期協議に向けた取り組みの実施を目指しました。

■地域や組織・団体の防災力向上に向けた取り組み

・地域や組織・団体の講座・研修に講師派遣・プログラム提供をおこなうことで、防災力向上に向けた取り組みを実施しました。

【講師派遣】(24回)

2010.05.22	連合千葉	災害 V 講座	講師派遣
2010.06.03	嘉悦大学		ゲストスピーカー
2010.06.06	連合埼玉	災害 V 講座	講師派遣
2010.06.07	明星大学		ゲストスピーカー
2010.07.11	東京ハンディキャップ連絡会	災害 V 講座	講師派遣
2010.07.15	千葉県	防災市民講座	講師派遣
2010.07.16	千葉県	防災市民講座	講師派遣
2010.07.22	文京 VC	防災市民講座	講師派遣
2010.08.28	金光教東京センター	シンポジウム	パネラー派遣
2010.09.04	三宅村	式典	代表者派遣
2010.09.18	NHK 学園	市民講座	講師派遣
2010.10.20	真如苑	防災市民講座	講師派遣
2010.11.02	中野区福祉団体連合会	防災市民講座	講師派遣
2010.11.22	曹洞宗青年会	防災講座	講師派遣
2010.11.27	千葉県	災害 V 講座	プログラム提供
2010.12.08	多摩 VC	防災市民講座	プログラム提供
2011.01.07	せせらぎコミュニティ協議会	防災市民講座	プログラム提供
2011.01.14	内閣府	災害図上訓練	
2011.01.15	市川市	防災市民講座	講師派遣
2011.01.30	防災まちづくりフォーラム	シンポジウム	パネリスト派遣
2011.02.19	東京 PSW 協会	防災講座	講師派遣
2011.03.03	小平 VC	防災市民講座	講師派遣
2011.03.05	静岡県 V 協会	災害図上訓練	
2011.03.08	川崎市自治会	防災市民講座	講師派遣

なお、上記事業以外にも、各団体・地域が取り組む防災講座・研修にあたり、プログラムの提案・研修内容へのアドバイスなどを実施しています。

【委員派遣】

東京都共同募金会配分委員派遣	委員派遣	上原
内閣府「防災ボランティア活動検討委員会」	委員派遣	福田・藤野(東京都生協連)
東京ボランティア・市民活動センター運営委員会	委員派遣	福田

【委託事業】(1 事業)

・地域や組織・団体といった「集団として」の防災力向上に向け、市民講座や研修などを開催しました

東京都生協連(8 回)

2010.07.17	COOP 災害ボランティアリーダー養成講座	第一回	開講式／記念講演
2010.08.28	COOP 災害ボランティアリーダー養成講座	第二回	池袋防災館
2010.09.25	COOP 災害ボランティアリーダー養成講座	第三回	徒歩帰宅訓練
2010.10.30	COOP 災害ボランティアリーダー養成講座	第四回	防災まち歩き体験
2010.11.13	COOP 災害ボランティアリーダー養成講座	第五回	炊き出し／応急救護体験
2010.12.11	COOP 災害ボランティアリーダー養成講座	第六回	普通救命講習／AED 講習
2011.01.29	COOP 災害ボランティアリーダー養成講座	第七回	災害救出劇鑑賞
2011.02.26	COOP 災害ボランティアリーダー養成講座	第八回	修了式／振り返り



講義だけでなく、防災のまち歩きや応急救護体験など、体験型のプログラムも実施しています。

■ 広く市民の方々の防災・減災意識啓蒙に向けた取り組み

- ・より多くの様々な主体が参画・協働できるイベント型啓蒙活動やシンポジウムを実施しました。

◇1.17 イベントの開催

毎年1月17日前後に全国的に開催されている「1.17 灯りのつどい」。東京災害ボランティアネットワークでは、2000年から取り組み続けているイベントですが、多くの団体とともに連携・協働するイベントとして定着しています。

いま、わたしたちに、できること。2011 KOBE MEMORIAL 1.17 灯りのつどい

日 時：2011 年 1 月 15 日(土) 16 時 00 分～18 時 00 分

場 所：東京国際フォーラム地上広場

内 容：灯りのつどい／炊き出し(お汁粉)／煙体験ハウス／パネル展示(イオン 1%クラブ・東京 YMCA・東京ボランティア・市民活動センター・連合東京・東京都生活協同組合連合会・シャンティ国際ボランティア会・東京災害ボランティアネットワーク)／スクリーン映像／ハンドベル演奏

参加者：約 800 名(炊き出し食数より)

主 催：東京災害ボランティアネットワーク

共 催：(株)東京国際フォーラム／東京ボランティア・市民活動センター

後 援：東京都

協 力：イオン 1%クラブ／聖パウロ学園高校ハンドベルクワイア／丸の内消防署／森林ボランティア ベルデ／東京 YMCA／連合東京／東京都生活協同組合連合会／シャンティ国際ボランティア会



毎年恒例のイベントでもあり、楽しみにしてくださっている方も数多くいるようです。

■参加団体、および関係団体との連携を深める活動

東京災害ボランティアネットワークの全ての活動は、参加団体、および関係団体との信頼関係に基づく連携と協働によって実施されています。首都圏統一帰宅困難者対応訓練や、1.17 イベントはその最たる取り組みではありますが、2010 年度は、2010 年 8 月の東京都・文京区合同総合防災訓練や、2011 年 1 月の内閣府災害図上訓練などを実施することができました。

東京都・文京区合同総合防災訓練

日時：2010 年 8 月 29 日(日)

場所：文京区白山地区

内容：防災のまち歩き、災害 VC 設置訓練 他

主催：東京都 文京区

東京ボランティア・市民活動センター、文京区ボランティア・市民活動センター
プログラム提供：東京災害ボランティアネットワーク

参加：東京都生協連／連合東京／文京区内障がい者団体 等 100 名以上



障がい者をお持ちの方との防災待ち歩きを中心プログラムとして、いくつかのプログラムを実施いたしました。



日時:平成22年8月29日(日)9:00～12:00

場所:文京区白山地区、本駒込駅周辺
(集合場所:東洋大学調理学部災害ボランティアブース)

参加:無料(ボランティアとしてご参加ください)

いつ起こるかわからない大災害。東京でも首都圏下は地震の可能性などが懸念されています。
中央防災会議では、東大震災大災害に備え、高齢者や障がい者をお持ちの方、乳幼児や妊婦など、いわゆる災害時脆弱な方々との防災・避難に向けた取り組みを進めています。
今回、平成22年度東京都・文京区合同総合防災訓練では、災害ボランティア訓練として、障がい者団体の方々と連携・協働で防災まち歩きプログラムを中心とした訓練プログラムを実施します。
障がい者と共にまち歩きすることで、災害時の障がい者支援についても多くの気づきを得ていきたいと思っております。多くの方々のご参加をお待ちしております。

＜タイムスケジュール＞

09:00 → 集合受付

09:20 → オリエンテーション

10:00 → 防災のまち歩き出発

10:45 → 集合場所集合場所集合場所集合場所

→ 12:00 → 解散

本プログラムは、平成22年度東京都・文京区合同総合防災訓練内の訓練プログラムとして実施されます。

平成22年度 東京都・文京区合同総合防災訓練

障がい者の方々と歩く防災のまち歩き

平成 22 年度政府総合図上訓練

日時：2011 年 1 月 14 日(金)

場所：有明の丘基幹的防災拠点施設、および全国社会福祉協議会会場

内容：政府図上訓練、および災害 V 団体情報連携訓練

参加：シャンティ国際ボランティア会、東京 YMCA、連合東京、東京都生協連、真如苑 SeRV、ADRA Japan、東京ボランティア・市民活動センター、静岡県ボランティア協会、レスキューストックヤード、NPO 愛知ネット、川崎災害ボランティアネットワーク、全国社会福祉協議会 等



■写真左：有明会場の様子。政府現地対策本部の設置がされ、会場全体では各省庁から総勢 300 名程の参加があった ■写真右上：ボランティアブースの様子。各ブースにはパソコンが数台設置され、情報のやり取りもパソコン上でおこなった ■写真右下：全社協会場の様子。

■三宅島支援センター、みやけじま＜風の家＞を通じた被災地支援

東京災害ボランティアネットワークは、三宅島支援センターの一員として、主体的にこれら活動の運営を担いました。

また、自主的な開設を目指し、島内外の関係者の方々と慎重に議論を重ね、2010 年 2 月に新しい運営方法での再スタートとなりました。

新しい運営方法に伴い、「三宅島災害・東京ボランティア支援センター」の機能は、東京災害ボランティアネットワークへ移行しています。

みやけじま＜風の家＞

開設日：毎週火曜日・金曜日

開設時間：午前 9 時 00 分～午後 15 時 00 分

三宅島年末お掃除ボランティア

2005 年の年末から始まったこの「三宅島年末お掃除ボランティア活動」も 2010 年で 6 回目となりました。2005 年 2 月から 8 月まで約半年間におよんだ帰島支援ボランティア活動。多くのボランティアの方々に参加していただき、支援する者と支援される者の壁を超えた交流を持つことができました。

2005 年 10 月からは、復興支援として、島民の加齢と島の高齢化課題に取り組む試みとして島民自身が運営する「みやけじまく風の家」を通じて様々な活動を展開しています。

今回の「三宅島年末お掃除ボランティア活動」は、例年通り 2 週に分けて実施予定でしたが、海上天候の都合により、第一回日程については中止となってしまいました。

日 時：2010 年 12 月 03 日(金)～05 日(日) 中止
2010 年 12 月 10 日(金)～12 日(日)

場 所：三宅島

主 催：みやけじまく風の家／東京災害ボランティアネットワーク

参加者：東京からのボランティア参加 18 名
東京からの事務局ボランティア 1 名
三宅島現地事務局ボランティア 6 名 計 25 名

プログラム

：お掃除件数 5 件
島内視察 島民ボランティアによる島内一周視察



ふれあい交流を最も大切にされたこのお掃除ボランティア活動も、2010 年度で 6 回目。島民の方々はいつもこのプログラムを楽しみにしてくださっています。

■運営体制の強化

◇財政体制の強化

東災ボの財政体制を強化するにあたり、会費納入の徹底を図ることが必須となっていました。2009 年度は、財政管理担当事務局員を置いたことにより、参加団体からの会費納入の管理が徹底され、納入額も安定してきました。

2008 年度会費納入額	¥1,122,000
2009 年度会費納入額	¥1,254,000
2010 年度会費納入額	¥1,248,000

◇事務局体制の強化

事務局体制の強化として、2009 年 3 月より、月 1～2 回で、成清正信さんが非常勤事務局員としてお手伝いいただけることになりました。また、3 月 11 日の東日本大震災支援のために、現地事務局担当として、坂上幸一郎さん、北山光治さん、坂上由香さん、上原泰順さんの 4 名が非常勤事務局員として活動に参加してくださることになりました。これで、常勤事務局員が 2 名、非常勤事務局員(会計担当・東災ボ TIMES 担当、東日本大震災支援担当)が 6 名となりました。

常勤	事務局長	上原泰男	
	事務局次長	福田信章	
非常勤	事務局員	厚澤糸江	(会計担当)
	事務局員	成清正信	(東災ボ TIMES 担当)
	事務局員	坂上幸一郎	(東日本大震災支援担当)
	事務局員	北山光治	(東日本大震災支援担当)
	事務局員	坂上由香	(東日本大震災支援担当)
	事務局員	上原泰順	(東日本大震災支援担当)

■事業推進に向けた機関運営報告

東京災害ボランティアネットワークは、2010 年度も様々な事業を実施してきました。東京災害ボランティアネットワークは、ネットワーク団体として各参加団体の方々と連携・協働して具体的事業に取り組み、事業の中で、団体間・組織間の役割や特徴に気づきつつ、「顔の見える関係」作りに努めてきました。そして、これらの事業はいずれもが、各種会議の中で、意見交換され、合意しながら取り組んできたものです。ある意味、事務局会議や運営委員会が定期的開催できていることが東災ボの一つの役割といえます。

◇事務局会議の開催

- ◆第一回事務局会議 : 2010 年 04 月 26 日
- ◆第二回事務局会議 : 2010 年 05 月 25 日
- ◆第三回事務局会議 : 2010 年 06 月 28 日
- ◆第四回事務局会議 : 2010 年 07 月 26 日
- ◆第五回事務局会議 : 2010 年 08 月 23 日
- ◆第六回事務局会議 : 2010 年 09 月 27 日
- ◆第七回事務局会議 : 2010 年 10 月 25 日
- ◆第八回事務局会議 : 2010 年 11 月 29 日
- ◆第九回事務局会議 : 2010 年 12 月 27 日
- ◆第十回事務局会議 : 2011 年 01 月 24 日
- ◆第十一回事務局会議 : 2011 年 02 月 27 日
- ◆第十二回事務局会議 : 2011 年 03 月 28 日 東日本大震災発生のため中止

◇運営委員会の開催

- ◆第一回運営委員会 2010 年 12 月 22 日

◇役員会の開催

- ◆第一回東京災害ボランティアネットワーク役員会 2010 年 12 月 09 日
- ◆第二回東京災害ボランティアネットワーク役員会 2011 年 03 月 17 日

また、事務局会議や運営委員会・役員会以外にも、各種事業のための検討プロジェクト会議や実行委員会（「帰宅困難者対応訓練実行委員会」「1.17 イベント実行委員会」など）の場が設定され事業に取り組んでいます。

◇東災ボ TIMES の発行

2010 年 05 月 21 日号 帰宅訓練実行委員会／総会案内 等

2010年06月24日号 総会報告／私たちの歩み 等
 2010年07月26日号 東京都総合防災訓練案内／海外での被災地支援 等
 2010年08月20日号 帰宅訓練案内／私たちの歩み 等
 2010年10月21日号 三宅島式典報告／その他活動報告 等
 2010年12月31日号 私たちの歩み／その他活動報告 等

2009年度は、計6回の東災ボTIMESが発行できました。東災ボの活動の告知や報告が主な掲載となりました。



■東日本大震災被災者支援活動

2011年3月11日に発災した東日本大震災の被災者支援活動を実施しました。発災直後の3月17日に東災ボ役員会を開催し、支援活動の取り組みを確認、一週間後の24日、ボランティア拠点設置に向けて上原事務局長が被災地入りし、4月2日よりボランティア派遣をおこない、240名(のべ1652名/日)のボランティア派遣を実施しております。

詳細については、別紙資料をご覧ください。

2010 年度役員・運営委員

役員（順不同）

代表	山崎 美貴子	（東京ボランティア・市民活動センター）
	廣田 光司	（東京YMCA）
副代表	遠藤 幸男	（東京労働者福祉協議会）
	伊野瀬 十三	（東京都生活協同組合連合会）
	茅野 俊幸	（SVAシャンティ国際ボランティア会）
	青山 やすし	（明治大学公共政策大学院教授）
	須藤 謙治	（連合東京）
監事	高橋 学	（ふるさと荒川を創る区民の会）
	野島 怜	（連合東京ボランティアサポートセンター）

運営委員（順不同）

竹内 則夫	（東京ボランティア・市民活動センター）
金子 極	（中央労働金庫東京地区本部）
川本 晃義	（日本労働組合総連合会東京都連合会）
平野 陽子	（長寿社会文化協会）
関根 義雄	（障害者インターナショナル（DPI）日本会議）
北山 光治	（全国労働者共済生活協働組合連合会東京都本部）
市川 啓一	（憐レスキューナウ）
佐々木 浩	（全国広域目黒チェアキャブを走らせる会）
鈴木 隆	（社会総合研究所）
白鳥 孝太	（SVAシャンティ国際ボランティア会）
筒井 優子	（日本赤十字社東京都支部）
生原 勇	（東京都生活協同組合連合会）
林田 浩	（練馬災害ドット・ネット）
細坪 信二	（危機管理対策機構）
沖 利柯	（東京YMCA）
南宮 成一	（東京YMCA）
小林 英夫	（自立支援センター ふるさとの会）
野田 宏人	（真如苑 SeRV）
丸木 敦	（西東京ボランティア・市民活動センター）

事務局

事務局長	上原 泰男
事務局次長	福田 信章